

近大付属高グランプリ

We are Sneaker Ages®

「難しい曲やり切った」

大阪市此花区の府民共済SUPERアリーナで25日に開催された高校・中学校軽音楽系クラブのコンテスト「第37回 We are Sneaker Ages」(産経新聞社・三木楽器グループ主催、大阪芸術大学グループ特別協賛)のグランプリ大会。府内からは高校13校と中学2校の計15校が出場し、近畿大学付属高校がグランプリ校賞に輝いたほか、阪南大学高校が準グランプリ校賞、河南高校が府教育委員会賞を獲得するなど府勢の活躍が目立った。

近畿大学付属高校は、コルの世界観を表現することの迫力ある演奏で客席をわかせた。メインボーカルを務めた笠置珠生さん(2年)は「歌い出してゴスペル」



府教育委員会賞を受賞した河南高

準グランプリ校賞に輝いた阪南大学高—25日午後、大阪市此花区の府民共済SUPERアリーナ (永田直也撮影)

河南高 府教育委員会賞 府勢大活躍 阪南大高 準グランプリ

の名曲「シーズン・イン・ザ・サン」で会場に南国気分を持ち込み、準グランプリ校賞に輝いた。リーダーの松田聖さん(3年)は「前半はゆったりとしたムードで、ラストはギターとボーカルがからむユニークなアレンジで曲の魅力を伝えられた」と話した。

河南高校は、ポップスグループ「いきものがかり」の「風が吹いている」を演奏して府教育委員会賞を受賞した。バラード曲を情感を込めながら歌い上げた周藤歌さん(2年)は「練習の成果は出せた。メンバー全員で(舞台上での)動きや表情を考えた」と笑顔で振り返った。

大阪芸術大学賞を受賞した四大王寺中学は、男女デュオ「コアラモード」の「七色シンフォニー」で力強い歌声と中学生らしい元気あふれる演奏を披露した。ボーカルの杉本佳名子さん(3年)は「最高のメンバーたちと作る『夢の舞台』で、演奏と心を一つに合わせることができた。きょうは100点をつけた」と語った。

他の府内出場校のリーダーらのコメントは次の通り。

■夕陽丘高校2年、上田凌大さん「一生忘れられない5分間。努力をすれば、ここまで来られると見せることができた」

■富田林高校2年、渡辺亜美さん「グランプリ大会まではトラブルの連続だった。本番では楽しく演奏できた」

■交野高校3年、伊丹小奈月さん「『テンポを大事に』を心がけた。舞台上では、落ち着いて自分たちを表現できたと思う」

■四條畷高校2年、川口彩果さん「メンバーみんなで気持ちを一つにして、バラードの切ない一体感を表現できた」

■大阪ビジネスフロンティア高校2年、坂本凱さん「初めての大きな舞台で、人生で一番思い出に残るステージができた」

■北摂つばさ高校3年、青木美悠良さん「とても楽しく演奏ができ、これがグランプリ大会の景色なんだと実感した」

■大阪市立平野北中学3年、山名穂実さん「小さな放送室で練習してきた成果を、グランプリ大会の大舞台で解放した」

■吹田高校2年、富士原沙耶さん「メンバーもボーカルについていくことができ、最高の舞台にすることができた」

■柴島高校3年、菊池海人さん「先輩を送るときに作ったオリジナル曲を演奏したが、歌に込めた感謝の気持ちも伝わった」

■あべの翔学高校3年、高木龍行さん「練習時間が短かったが、グランプリ大会では自分たちの力を出し切った」

■帝塚山学院高校3年、松尾怜奈さん「中森明菜さんの格好良さや、あでやかさを意識した。練習の成果は出せたと思う」